

常任委員会の活動

企画総務委員会

開会日 2月19日(木)
3月25日(水)

案件 議案7件、陳情1件
報告6件

◆主な審査状況等を紹介します。

可決
正) 墨田区行政手続条例(一部改

行政手続法の一部改正を踏まえ、公示の方法による聴聞及び弁明の機会の付与の通知について、インターネット等でも行うことを可能とするほか、所要の規定整備をするもの

公示体制の詳細について

問 今回の改正に伴い実施されるインターネットでの公示について、

①従来どおりの公示の方法に加えて実施するのか。②インターネットではどのような形で公示するのか。

答 ①従来の方法に加えて実施する。②区のウェブサイト内に設置している電子掲示板に掲載する予定である。



可決
令和7年度墨田区一般会計補正予算(議案第80号)

公共施設等整備基金積立金、保育園管理運営委託等経費等について36億7817万5000円を追加するほか、14事業の繰越明許費を補正するもの

地域の拠点施設の今後について

問 先の国政選挙に伴い、改修中であつた、みどりコミュニティセンターを期日前投票所として使用した。①工事を一旦やめたことによる開設時期への影響は。②現段階で予約ができる状況か。

答 ①令和8年3月31日までの工期を予定していたが、今回の繰越明許に伴い、4月10日まで工事を実施する予定である。その後、清掃や館内チェック等を経て、オープンは4月15日としており、約2週間の延期を予定している。②4月15日以降の予約については既に可能な状況である。

採択
政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求めるとに関する陳情

職員に対する政党機関紙の庁舎内勧誘行為、それに伴う心理的圧力の有無について実態調査を求めると

問題認識を共有し、具体的な対応へ

意見 現在、ハラスメントに関する相談窓口の設置に向けた議論を進めている議会改革特別委員会において、議会独自のハラスメント実態調査の実施に関し、政党機関紙に関する内容を盛り込むことが全会一致で決定されている。これは、議会としても問題意識を具体的な形で示したものであり、その意義は大変大きい。

個人の思想及び信条の自由に配慮を

意見 調査を実施すること自体が、憲法で保障されている思想・信条の自由を侵すことにつながりかねない。また、既に議会改革特別委員会において議員からのハラスメント実態調査を実施することが決まっており、追加の調査・対応は必要ない。

報告
公民学連携・SDGs未来都市推進事業の取組状況等について

SDGs未来都市推進事業の進捗状況及び普及啓発事業実績、大学のあるまちづくりについての報告

大学の知見を生かした地域課題の解決に向けて

問 千葉大学と連携し、区民の行動変容を促すデザインなどの取組が進められたとされるが、どの程度具体的な効果があつたのか伺う。

答 実装されている事例のうち、選挙の際に配布する投票済証について、メディアやSNS等で多く取り上げられたこともあり、選挙を重ねるごとに配布数が増えている状況である。また、投票済証の交付期間内において、区の公式LINEの登録者数が通常時の2倍程度となり、区民の行動変容に一定の効果があつたものと考えている。

持続可能な事業へと昇華させるには

問 SDGsに関する取組について、目標期限の2030年まで残り3分の1という状況である。今後、国の補助金や未来都市の選定期間の終了後、現状の仕組みを維持する、又は整理していくことも検討していかなければならないが、区としての考えは。

答 2030年は基本計画の中間改定のタイミングでもあり、今後はSDGsのその先を見据えた全庁的な議論が必要であると考えている。国連での議論も注視しながら、大学のあるまちづくりという観点も含め、第3期の未来都市計画を検討していく。



SDGs普及啓発事業関連行事リーフレット

区民福祉委員会

開会日 2月19日(木)
3月24日(火)
3月30日(月)
3月31日(火)

案件 議案9件、陳情5件
報告3件

◆主な審査状況等を紹介します。

可決
例(一部改正) 墨田区特別区税条例及び墨田区後期高齢者医療に関する条例

地方税法の一部改正を踏まえ、公示送達の方法について、インターネット等でも行うことを可能とするもの

個人情報への配慮も

問 個人情報への配慮も必要になると思うが、対策について伺う。

答 個人が特定できる情報は画像化して掲載するなど、デジタル庁の指針に従い運用するとともに、公示事項の制限や公示期間終了後は速やかに情報を削除する等の対策を行う。

可決
すみだ福祉保健センター条例(一部改正)

すみだ福祉保健センターのあり方検討の結果を踏まえ、同センターにおける健康増進事業及び当該事業を実施する施設を廃止するほか、所要の規定整備をするもの

健康増進から疾病の早期発見への変化について

問 改正の理由とその効果を伺う。

答 民間のスポーツ施設等が増加しており、健康増進室を区が設置する必要性は低いものと考えている。今後、

健康増進事業は、すみだ保健子育て総合センターを中心に一層のエビデンスに基づいた施策を展開していきたい。事業が縮小することがないよう推進を

問 現在、健康増進事業を利用されている方への周知、また、健康増進室の空き時間の今後の活用について伺う。

答 昨年10月以降、利用者に対し事業の廃止を案内している。また、健康増進室は、これまでも当該事業のほかにはデイサービスや機能訓練等で利用しているため、それらを拡充して活用する考えである。

不採択

・墨田区斎場等の設置等に関する条例の制定に関する陳情

・住宅密集地における宗教施設の斎場機能利用に係るガイドラインの策定並びに周辺住民への説明会実施及び住民同意の義務付けを求めるとに関する陳情

・住宅密集地におけるイスラム礼拝施設内での葬儀執行に伴う住環境への影響調査並びに周辺住民への事前説明及び住民同意を求めるとに関する陳情

・住宅密集地における礼拝施設建設に伴う葬祭行事・遺体処置の制限並びに周辺住民への事前説明及び合意形成の義務付けに関する陳情

住宅密集地での宗教施設建設に係る事前の周辺住民への説明会の実施、施設において遺体の安置や葬儀等を行う際の公衆衛生や交通安全、騒音防止等に関する墨田区独自のガイドライン等

の策定、相談窓口の設置を求めるとなど

区民の不安に寄り添い丁寧な対応を

意見 地域住民が抱く不安や懸念を軽視することなく、建築計画の相談や申請がなされた際には、関係法令に基づき適切な審査を行うとともに、衛生面への配慮、安全確保、周辺環境との調和といった観点について必要な指導や確認を丁寧に行ってほしい。

報告
「すみだ健康づくり総合計画」について

パブリックコメントの実施結果、墨田区保健衛生協議会、すみだ健康づくり総合計画策定部会等の意見を踏まえ、すみだ健康づくり総合計画の策定についての報告

全庁的な推進を

問 本計画に一本化された第2次墨田区自殺対策計画に関して、自殺対策は全庁横断的な対策が求められると考えるが、今後の方針を伺う。

答 自殺対策は単なる福祉や保健事業にとどまらず、生きることに対する包括的な支援として、より積極的かつ横断的な対応が必要なものとして認識しており、全庁的な対応に努めていきたいと考えている。

健康への無関心層にアプローチを

問 無関心層へのアプローチが重要と考えるが、方針を伺う。

答 すみだ健康宣言の一部見直しもあり、本計画の策定と併せて区報や区公式ウェブサイト、SNS等を活用して周知を行い、行動変容につなげていきたいと考える。無関心層に対しては、特にゼロ次予防の取組も積極的に進めていきたい。

地域産業都市委員会

開会日 2月19日(木)
3月17日(火)

案件 議案5件、陳情5件
報告6件

◆主な審査状況等を紹介します。

可決
墨田区木造住宅耐震改修促進
助成条例(一部改正)

住宅の耐震化の一層の促進を図るため、非木造住宅の耐震改修等を助成対象に加えるとともに、耐震改修等に係る助成率を一部引き上げるほか、題名を改める等、所要の改正をするもの

助成対象拡大に見合う引上げを

問 非木造住宅が助成対象になり、工事単価も大幅に上昇してくると思う。助成額は引き上げられているが、実際に足りるのか。

答 これまで、非木造の住宅は、助成制度が未実施だったため、実績はないが、まずは木造と同等の助成額に設定し、制度を運用していく中で、適宜見直しを行っていききたい。

不採択
墨田区の循環バスの見直しについて熟慮を求めることに関する陳情

見直しについて、説明の機会を再決定する等の措置を講ずるほか、見直し決定後も、利用者の声を聞く機会を設ける等、利便性の向上に努めることを求めるもの

路線の持続可能な存続のために

意見 区民要望を聞く機会を設けると、その意見を反映すること、

料金についての公平性、今後も区民の声を聞くということはいずれも重要なものだが、一定の丁寧なプロセスを経て現在の案が練り上げられたものであり、計画の再度の見直しや停滞は区民の足である路線の持続可能な存続自体を損ねる可能性があるものと考ええる。

不採択
・墨田区内における宗教施設(モスク)建設計画についての事実確認、情報提供及び住民説明の機会の確保に関する陳情
・太平地区における大規模建築計画の事前周知及び江戸情緒を維持するための景観誘導に関する陳情
・住宅密集地の生活道路に面した大規模礼拝施設建設計画に伴う安全点検、防災・防犯体制の整備及び住民説明を求めることに関する陳情
・錦糸町駅周辺地域における大規模宗教施設(モスク)建設計画に対し、適切な対応を求めることに関する陳情

区内における宗教施設(モスク)建設計画について、区として把握している事実を整理し、可能な範囲で区民へ周知すること、周辺環境と調和させるための事前指導を強化すること、地域の道路状況等を踏まえた適切な指導を行うこと、墨田区中高層建築物紛争予防条例等に基づく厳格な審査・指導を行うこと等を求めるもの

地域住民の抱く不安や懸念がある

問 申請、相談届出がない状況で事業者に住居説明会の開催や計画内容の情報公開を義務付けることはできるのか。

答 紛争予防条例では、あくまでも建築計画があった上で、看板の設置後に説明会をしていくものであり、本件は、そのもつと前の段階の話なので、希望に沿いたいと思っている。

問 問合せ窓口を設置する必要性をどのように考えているのか。

答 現在、各専門部署がそれぞれの責任を持って回答している状況であり、総合的な窓口を設けるということではなく、現況の体制をとっていく予定である。

報告
「すみだ五彩の芸術祭」の実
施計画(案)について

「すみだ五彩の芸術祭」の実施に向けた全体像を示す実施計画の概要の報告
既存イベントとの連携について

問 実施計画(案)の地域連携参加促進に関連して、芸術祭の開催期間中に、すみだまつりと墨田区文化祭が重なると思うが、芸術祭との連携をどのように考えているのか。

答 墨田区文化祭は、非常に長い歴史を持つイベントで、この芸術祭においても、共催企画ということで、一つの大きな柱として開催する運びになっており、皆さんにも広くご参画いただくことになっている。文化祭は、多彩なジャンルがあり、芸術性に合わせて部門の増加を検討している。すみだまつり・こともまつりについては、お互いが広く広報上の連携を図って、お客様をお呼びすることを考えている。



すみだ五彩の芸術祭 PRポスター

子ども文教委員会

開会日 3月13日(金)

案件 議案1件、報告5件

◆主な審査状況等を紹介します。

可決
幼稚園教育職員の給与に関する条例(一部改正)

特別区人事委員会の勧告等を踏まえ、管理職員特別勤務手当の支給対象時間を拡大するとともに、同手当の額に100分の150を乗ずる対象となる勤務を教育委員会規則で定めることとするほか、所要の規定整備をするもの

規定整備と合わせて環境整備を

問 こうした勤務実態に見合った規定の整備は必要だが、働き方改革の観点からは、管理職の長時間勤務の抑制や業務負担軽減のための取組も必要と考える。区の考えを伺う。

答 区立学校における働き方改革プランに基づき、出退勤システムの導入や園長の事務補助職員の配置などで負担軽減を図ってきた。引き続き、ICT等も活用して、業務負担軽減や効率化に取り組んでいく。

報告
総合教育会議の開催について

墨田区教育施策大綱の改定案について協議した1月26日の第22回墨田区総合教育会議の報告

行政全体で多様な環境にある子どもへ支援を

問 墨田区教育施策大綱の改定案において、施策の方向として「多文化共生教育の充実」が取り入れられた経緯について伺う。

答 現行の教育施策大綱で施策の一つとして「グローバル化に対応した教育の推進」を、先般策定した墨田区基本構想や、外国人との共生社会の実現に向けたロードマップを踏まえて改定した。

実質的な議論がなされるよう、適宜見直しを

問 総合教育会議は定期開催となっており、形骸化が懸念される。協議すべき課題が生じたときに開催する形式も考えられるが、見解を伺う。

答 平成26年から年2回程度開催しており、最近では学校の働き方改革や教育センターにおける他機関との連携などについて協議している。区長部局と教育委員会が連携する体制づくりに寄与しており、有用性は高いものと認識している。開催頻度や運営形式は関係所管と調整していく。

報告
「墨田区学校改築基本計画」について

老朽化が進む区の学校施設を将来にわたって安心して学べる安全な施設とするため、計画的に学校改築を実施していくことを目的に策定する学校改築基本計画の内容についての報告

引き続き、児童・生徒・地域により良い方法の検討を

問 居ながら改築が難しい学校は連携改築することとなっているが、継続して最良の方法を模索してほしい。今後、代替地などが見つかった場合、方針が変わることもあるのか。

答 居ながら改築が難しい学校は、現時点で考えられる一番良い方法で検討を進めてきたが、状況が変われば柔軟に見直しを行う。

議員研修会を開催 “公共施設の未来を考える”

1月27日、東洋大学国際PPP研究所シニアリサーチパートナーの南学氏を講師にお迎えし、「公共施設マネジメントと公民連携」をテーマとした議員研修会を開催しました。持続可能な公共施設の運営方法や、公民連携による効果的な施設活用などについて学ぶ機会となりました。



研修会の様子

「新日本フィル」によるミニコンサートを開催!

2月4日、本会議場において「2月議会(施政方針)開会前コンサート」を新日本フィルハーモニー交響楽団との共催で開催しました。

当日は、同楽団の演奏者による美しい木管五重奏が披露され、議場に優雅な音色が響き渡りました。

コンサートのもようは区議会ウェブサイトでご覧いただけます。



映像配信Web



ミニコンサートの様子

予算特別委員会のもようをお知らせします

よさんとくべついいんかい
そもそも「予算特別委員会」ってなんですか？



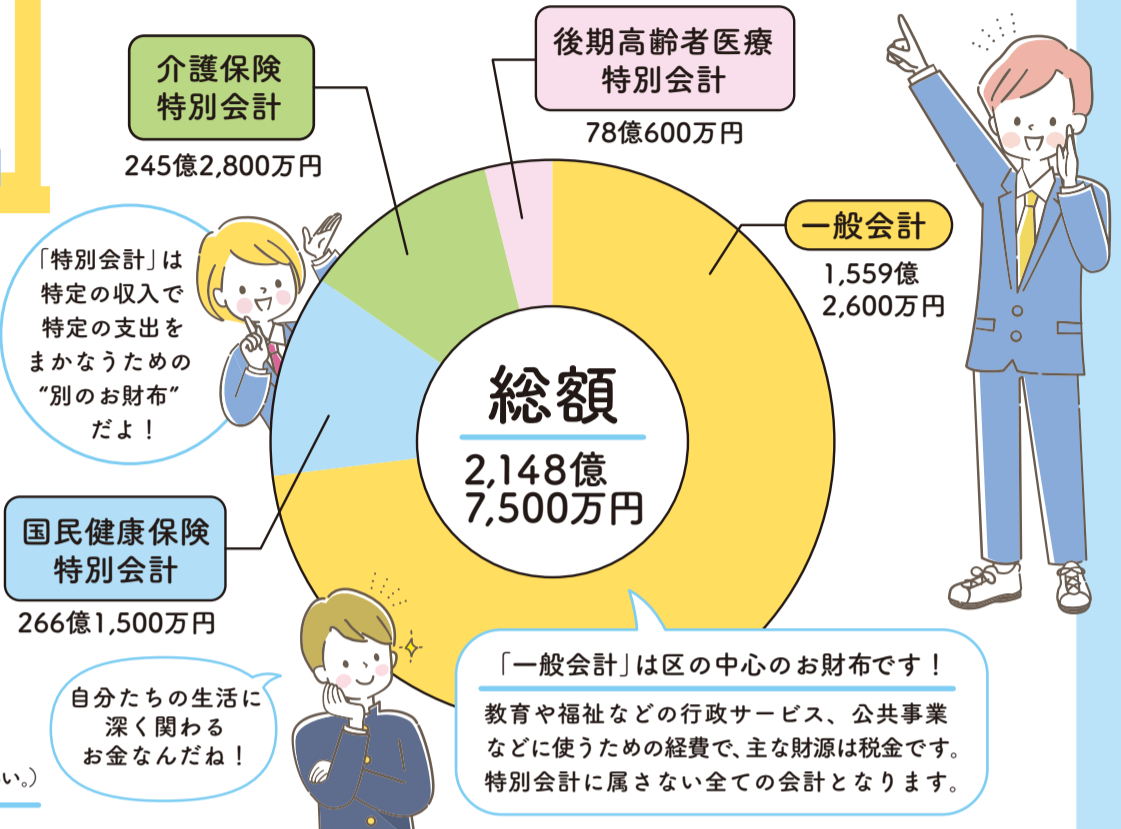
区長から提出された次年度の予算の内容が、区民のみなさんの声に沿ったものになっているのか？などについて審査するために開かれる委員会です。今回は、令和8年度の予算について審査しました。

予算特別委員会委員（15人）

- 福田 はるみ(自民党) はねだ 福代(公明党)
 - 加藤 ひろき(自民党) たきざわ 正宜(自民)
 - 稲葉 かずひろ(自民党) 村本 ひろや(共産党)
 - あべ よしたけ(自民党) とも 宣子(公明党)
 - 遠藤 ミホ(立憲墨) 高橋 正利(公明党)
 - 甲斐 まりこ(墨未来) おおこし 勝広(公明党)
 - しみず 良平(墨維新) 桜井 浩之(無所属)
 - 坂井 ユカコ(自民党)
- (○委員長 ○副委員長)

令和8年度墨田区各会計予算額

令和8年度の墨田区各会計予算の編成状況についてお知らせします。各費目の詳細等は墨田区公式ウェブサイトをご覧ください。



各党派等の主な意見 (詳細は、映像配信ウェブサイトをご覧ください。)

自由民主党・無所属

賛成

- 学校改築や公共施設更新など将来需要を見据える中で、起債と基金を戦略的に組み合わせる考え方が示されたことは重要だ。今後は、公債費負担比率なども視野に入れた分かりやすい財政運営が必要だ。
- 4月施行の民泊関連条例の実効性を高めるため、監視・指導体制の強化やルールブックによる周知が示された。区民の安心を最優先に審査と指導の徹底を求める。
- 保育園入園選考における居住年数合算、いわゆるUターン支援のシステム改修費が予算化された。定住促進の観点から着実に進めるべき。



日本共産党

反対

- これ以上の公共施設の削減は区民サービスの後退につながるものであり、容認できない。区政課題も多様化する中で、公共施設を質、量ともに充実させることが求められる。
- 家賃負担軽減は待ったなしの重要な課題だ。直ちに新たな制度設計を図り、区独自に家賃補助制度を実施することを改めて強く求める。
- 暮らしへの支援が不十分である。国保料、後期高齢者医療保険料の軽減、区独自の給付型奨学金の実施など、区民生活への支援を十分に行うべきである。



公明党

賛成

- 基金の債券運用割合など、計画的、弾力的な運用や歳入確保の取組を進め、安定した財政基盤を確立するとともに、区民生活に寄り添った施策を着実に推進していくことを求める。
- これまで各委員会等で指摘してきた課題について、一定の改善や取組の進展が図られていることが確認できた。
- 地域力向上推進事業補助金について、補助規模の面では十分とは言えない状況も見受けられることから、現場の実情を踏まえた予算の充実について検討されることを期待する。



のぞいてみよう！
予算特別委員会の審査のもよう



すみだ未来フォーラム

賛成

- 木密地域の不燃化プロジェクトの推進や、東武伊勢崎線立体化事業、災害復興マニュアル改定経費など、区民の命を守る基盤整備に重点を置いた配分を評価する。
- こどもまんなかの視点に立ち、小学校での英語学習体験や、教員の授業力を高めるクラウド型支援サービスの導入など、教育の質的向上を図る姿勢を評価する。



立憲民主党

賛成

- 当事者や専門家の意見を踏まえ、犯罪被害者に寄り添う支援体制の整備と条例制定に向けた検討を進め、専門員の確保に努めること。
- 包括的性教育は幸せに生きるための人権教育である。子どもが被害者にも加害者にもならぬよう、わかりやすい広報・啓発をすること。
- 食の安全保障や持続可能な社会の実現、環境教育に寄与する有機給食の取組を進めること。



日本維新の会

賛成

- 基金の評価や公共施設マネジメントなどは、物価動向も踏まえたより現実的な財政見直しを行う必要がある。将来世代へ過度な負担を先送りしないよう、正確な財政推計を基礎とした計画的かつ持続可能な財政運営を求める。
- 子育て支援施策については、区民ニーズを踏まえながら継続的に充実を図ることを期待する。



無所属すみだ

賛成

- いじめ・不登校防止対策について、全国各自治体の成功事例等を共有することも重要と考える。国や都の新たな取組を注視しつつ、更なる対応を講じてもらいたい。
- 町会・自治会の下部組織の活性化こそが地域住民のイメージ変化にもつながる。町会・自治会の女性や若者の活動に力を与えるためにも、新たな投資の検討を求める。



自由民主党すみだの会

賛成

- 新たなクラウド型授業づくり支援サービスが導入されることを高く評価する。教員の業務負担を軽減し、子どもたちへの質の高い授業づくりへつなげることを期待する。
- 千葉大学やIU、UDCすみだ等と連携する公民学の連携を一層推進し、大学の知恵を活用した地域課題の解決と新たなにぎわい創出を期待する。



予算特別委員会の審査のもようをインターネットで配信しています！

予算特別委員会やその他の委員会、本会議のもようを、インターネットでご視聴いただけます。過去の開会分も映像配信しています。

詳細は区議会ウェブサイトをご覧ください。



令和7年度定例会2月議会 議決議案等の審議結果

○賛成 ×反対

Table with columns for item name, party names (Self-Democratic, Komei, etc.), and decision results. Includes sections for '区長提出議案' and '出議員提案'.

会派等の所属議員

Table listing party names and their members. Parties include Self-Democratic, Komei, Communist, etc.

会派構成等が一部変わりました

- 1月27日付けで、ちょうなん貴則議員は、公職選挙法第90条（立候補のための公務員の退職）の規定により、区議会議員の職を辞したものとみなされました。...

【今後の会議日程(予定)】

Table of future meeting schedules with columns for date, meeting name, start time, and location.

村本ひろや議員（日本共産党墨田区議会議員団幹事長）に対する問責決議について

村本ひろや議員（日本共産党墨田区議会議員団幹事長）に対して、議員研修会の欠席や議会での行動を起因とする問責決議が提出され、3月30日の本会議で可決されました。



初の避難訓練を実施しました！

1月23日、区の庁舎自衛消防訓練と連携した避難訓練を実施しました。万が一の事態に備え、安全確保と適切な避難行動について実践的な活動を行いました。



訓練の様子

